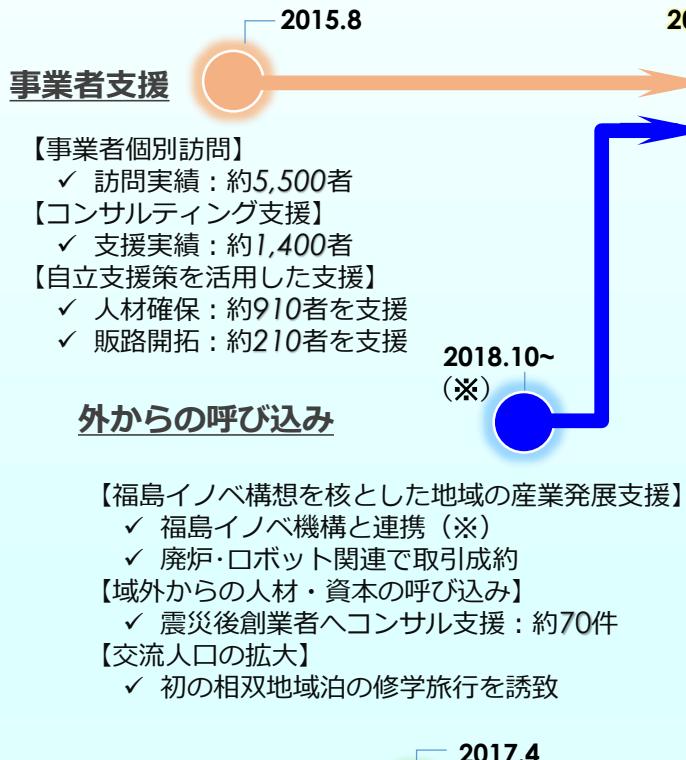


# 官民合同チーム：第二期復興・創生期間 取組方針



## 事業者支援

- 【事業者個別訪問】
  - ✓ 訪問実績：約5,500者
- 【コンサルティング支援】
  - ✓ 支援実績：約1,400者
- 【自立支援策を活用した支援】
  - ✓ 人材確保：約910者を支援
  - ✓ 販路開拓：約210者を支援

## 外からの呼び込み

- 【福島イノベ構想を核とした地域の産業発展支援】
  - ✓ 福島イノベ機構と連携（※）
  - ✓ 廃炉・ロボット関連で取引成約
- 【域外からの人材・資本の呼び込み】
  - ✓ 震災後創業者へコンサル支援：約70件
- 【交流人口の拡大】
  - ✓ 初の相双地域泊の修学旅行を誘致

## 営農再開支援

- 【農業者個別訪問】
  - ✓ 訪問実績：約2,100者
- 【販路拡大等の支援】
  - ✓ 販路拡大：約130件  
(都内飲食店へ配送、地場産品コーナーへ出品)
  - ✓ スマート農業実証プロジェクト組成・運営支援

## まちづくり支援

- 【まちづくり専門家支援】
  - ✓ 被災12市町村に専門家チームによる伴走支援
- 【広域的な連携・事業環境整備】
  - ✓ 物流課題に対し共同配送の仕組構築・開始  
(令和2年4月)
  - ✓ 「まちづくり移住定住シンポジウム」開催  
(令和2年10月)

■災害等への緊急対応など  
 2019年10月 令和元年台風19号等被害  
 2020年 3月～ 新型コロナウイルス拡大影響  
 2021年 2月 福島県沖地震被害

## 【事業なりわい再生・産業創出支援】

- **事業の自立・継続支援**
  - ・事業者が自立的な経営を維持・継続できるよう個別支援（事業再開の意向がない事業者には生活設計を支援）
  - ・特に、以下を重点支援
    - ①帰還困難区域を抱える地域 ②事業承継
    - ③人材確保（含：県外採用） ④販路開拓
- **地域経済を牽引する事業者への支援**
  - ・イノベ構想の核となる事業者の更なる経営力・技術力・デジタル力強化等の支援
  - ・事業者マッチングプラットフォーム（クラウド利用）の構築・浸透
- **産業集積の形成支援**
  - ・進出企業、スタートアップ、研究機関等とのビジネスマッチング促進（上記プラットフォーム活用）
  - ・廃炉分野における元請等とのマッチングの促進（廃炉マッチングサポート事務局運営等）
- **地元団体・機関との協業**
  - ・商工会など地元団体・地元金融機関等との情報連携、協業の展開
  - ・知見の共有、事業者への同行訪問
- **水産仲買・加工業等への支援（2021.5.13～）**
  - ・風評影響の最大限抑制に向け、地元における流通のボトルネックを解消するため、浜通り地域等15市町村の水産関係の仲買・加工業等を支援（12市町村+いわき市、相馬市、新地町）

## 【営農再開支援】

- **農地集積・集約への支援**
  - ・農業者個別訪問による営農再開意向・農地貸出意向の確認
  - ・再開意向のある農業者への課題把握・解決支援
  - ・農地集積・集約と担い手（新規参入含む）へのマッチング支援
  - ・12市町村の要望に応じた営農再開計画等策定支援
- **高付加価値の創出**
  - ・広域的な高付加価値産地形成に向けた連携・調整
  - ・効率的営農に向けたスマート農業技術の普及・提案活動
  - ・農産品の6次化など高付加価値化・販路拡大支援
  - ・畜産農家のネットワーク構築、耕畜連携支援
- **小規模営農モデルの展開**
  - ・農業者自身による実店舗・ECサイトでの販路拡大・運営支援
  - ・当該取組のモデル化、横展開

## 【広域まちづくり支援】

- **まちづくり支援と移住・定住促進**
  - ・各まちの重点案件、特徴ある取組への支援
  - ・特に帰還困難区域を抱える自治体へ重点支援
  - ・帰還者・移住定住者拡大に向けた具体的施策構築の支援（事業・農業等の「しごと」づくりを含め）
- **地域の価値創出、交流人口拡大**
  - ・相双地域の特性を活かしたコンテンツの創出・発信（「学び」（教育旅行・企業研修）、健康スポーツ等）
  - ・地元参加型の仕組みの定着、地域裨益拡大
- **先導的な広域的取組**
  - ・まちづくり会社の移住定住等に係る機能強化、広域連携支援
  - ・健康スポーツ施策、医療介護・地域包括ケア等の共同取組支援
  - ・新エネ（水素等）・モビリティ（自動運転等）など先進的取組、広域展開支援 等
- **実証フィールド化への取組**
  - ・地域の社会課題解決等にチャレンジする企業・人材の呼び込み
  - ・地元事業者・農業者・自治体等との結びつき、実証・実装支援

## 目指す姿/方向性

■これから復興が本格化する地域を重点的に支援し、帰還や移住が進んだ新しいまちの形成に貢献。

■帰還され事業・農業を営む方々と、外からの新しいヒト・担い手・企業との協業、産業集積・営農再開面積拡大に貢献。

■相双地域全体としての広域的なまちづくりに貢献。

■相双地域への関心を高め、交流人口・関係人口増、移住定住促進に貢献。

■相双地域・浜通りがイノベーションによる社会課題解決へのチャレンジの場となるよう貢献。

以上、いずれの取組も、福島イノベ機構、商工会等関係団体、関係機関、市町村、県、国等の皆様との密な連携・協業のもと、推進してまいります